

CONTENTS

- 01 令和4年 鶴岡商工会議所 新年祝賀会・講演会
- 02 会頭年頭挨拶 会頭 加藤捷男
鶴岡市への要望事項
- 04 TCCI NEWS & Information
- 07 老舗紹介「有限会社ミートデリカ・グドー」
- 08 コロナ関係情報
- 09 TCCI 景況調査結果報告
- 16 Business Box

Business Box

掲載広告募集中

イチオシ商品、サービス情報の発信!ビジネスパートナー探しにも!
会員皆様のご利用をお待ちしております!

広告枠サイズ
W96mm×H90mm

「第2回鶴岡No.1次世代料理人決定戦」
準グランプリ 工藤知成 監修

こだわりの味を、
職場やご家庭で

ONIKU・BOX

様々な種類のお肉料理をたっぷり
詰め合わせた贅沢BOX
¥3,500(税込)

彩り弁当

職場やご家庭でのお昼に
お求めやすいお弁当です
¥1,500(税込)

ベルナル鶴岡 山形県鶴岡市美咲町32-1
■総額1万円以上で配送を承っております
■営業時間/10:00~19:00 ■定休日/毎週火曜日
ご予約・お問い合わせ ☎0235-26-2020

ご購入はこちら

第2回
鶴岡No.1
次世代料理人決定戦
準グランプリ受賞
温海産桜美豚の
八角煮込み

冬のパーティー プラン

~2022/2/28日 中華笑顔コース

詳細はこちら

株式会社庄交コーポレーション
東京第一ホテル鶴岡
〒997-0031 山形県鶴岡市錦町2-10 Tel.0235-24-7611

自動車共済MAP

お見積り 無料キャンペーン 実施中!

MAPは「事故有等級」制度を
導入していません!

お問合せ/山形県火災共済協同組合 〒990-8580 山形市城南町1丁目1-1
TEL.023-647-2380 <http://www.dewazi.or.jp/yamagata-kasai/>
代理所/鶴岡商工会議所 〒997-8585 鶴岡市馬場町8-13
TEL.0235-24-7711 <http://www.trcci.or.jp/>

演題
激動の国際社会と
日本の展望

Ichiro Aisawa

2022年1月6日
鶴岡商工会議所新年祝賀会
講演会 講師 衆議院議員 逢沢一郎 先生

Katsuo Kato
年頭挨拶を述べる
加藤会頭

Ayuko Kato
新年のご挨拶
加藤副会頭 衆議院議員

Osamu Minakawa
新年のご挨拶
皆川治 鶴岡市長

鶴岡商工会議所新年祝賀会
は、1月6日(木)、グランドエール・
サンにおいて、衆議院議員、逢沢
一郎先生をお迎えし、来賓を含
め約120名が参加しました。
始めに主催者を代表し加藤
会頭が、「今こそ、会員事業者の
皆様に一層寄り添い、事業継続
と新たな挑戦への後押しを」「コ
ロナ過の困難な時代を超え、
希望に満ちた新たな未来を拓
く挑戦の年となるように願う」
と挨拶。続いて、来賓を代表して
加藤副会頭国土交通大臣政務官
と皆川市長からご祝辞をいただ
きました。

昨年、新年祝賀会を中止し
ており、2年ぶりの開催となり
ました。交流会では、鏡開きが
行われ、乾杯のあと、出席者が
互いにあいさつを交わして新年
を祝いました。
新型コロナウイルス感染症拡大
防止にご協力をいただきながら、
久しぶりに会員の交流が図られ
和やかな雰囲気の中での新年
祝賀会となりました。



新春鏡開き～新たな出発に発展を願って～

発行/鶴岡商工会議所 編集/株式会社庄交コーポレーション アド事業部

日本政策金融公庫

国民生活事業のご案内

わたしたちは、地域の皆さまのための政策金融機関です。

セーフティネット 創業 ソーシャルビジネス
海外展開 事業再生 事業承継

日本公庫では、事業資金融資、国の教育ローンなどの
ほか、経営に関する様々な情報を提供しています。

JFC 日本政策金融公庫
酒田支店 国民生活事業
TEL: 0234-22-3120

小口零細企業保証制度

小口零細

限度額
2000万円

▼ご利用いただける方
従業員数が20名以下の
小規模事業者の方
(商業サービス業は5名、
宿泊業は20名以下)

貸付利率	金融機関所定の利率となります	担保	原則不要
資金使途	事業に必要な資金(運転資金・設備資金)	保証料率	0.50~2.20%
連帯保証人	原則として、法人の代表者を除き不要	保証期間	7年以内

詳しくは鶴岡支店までお問合せください。
企業のおちかくで、
事業のおちからに。

山形県信用保証協会
●お問い合わせ窓口.....
鶴岡市本町2-7-5 TEL.0235-22-6122



会頭 加藤 捷男

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大第三波の中で年が明け、夏・秋には一日の新規感染者数が過去最大を記録した第五波に見舞われ、さらに年末年始には新たな変異株の拡大の懸念が広がりました。まさに、「コロナに始まりコロナに終わった」一年でありました。そうした中で、夏には東京オリピック・パラリンピック大会が開催され、地元のアーチェリー中村美樹選手をはじめ日本選手が大いに活躍され、また、大谷翔平選手や藤井聡太棋士の大活躍など、若い力に明るさを見出す一年でもありました。

経済の動向につきましては、政府の十二月の月例経済報告において、「持ち直しの動きがみられる」として緩やかな回復基調の判断にありますが、当地域では特に飲食、宿泊業において第五波の影響による売上低下が大きく、その他の業種でも、物流停滞や原材料高騰等により、先行きへの不透明感が増しております。加えて、今後本格化が見込まれるコロナ融資の返済が大きな課題であり、また、コロナ後を見据え、DX導入、SDGs、脱炭素化への対応といった新たな課題もありません。こうした課題を乗り越え、地域経済を再生していくためにはコロナ以前に「戻る」

のではなく、新しい環境に「進む」という意識が必要と言われております。変化に対応するための人材の育成・確保、ビジネスモデルの転換、新たな販路開拓など、具体的取組み課題は多岐にわたります。こうした課題の解決と活性化に向け、行政の更なる力強い政策支援をお願いいたします。今後、コロナ禍を克服していくためには、地域ぐるみの地方創生推進による地域の活力回復も求められます。こうした困難な時こそ、原点に立ち返り地域の本当の資源、文化を再発掘しつつ新たな再生の道を探っていくことが、最良の道であるように思います。

鶴岡商工会議所としても、地域の歴史・文化を知りその魅力を高める取組みや、食文化、生命科学など当地域の可能性あふれる資源を伸ばす取組みを関係機関と連携して更に進めるとともに、その基盤となる高速交通インフラである日沿道の早期開通、庄内空港の機能性・利便性の拡大などに向けた取組みに努めて参ります。

コロナ禍の困難な時代を越え、これから先、子や孫の生きる社会の在るべき姿に改めて想いを致し、酒井家庄内入部四百年の本年が、希望に満ちた新たな未来を拓く挑戦の年となるよう願ってやみません。

令和4年度 鶴岡市への要望事項

I. 新型コロナウイルス感染症による影響への積極的な対応について

- 1. 市内事業所の存続・雇用の維持に向けた対策の強化及び地域経済の早期回復に向けた事業の展開について
(1) 状況の変化に応じて、対象等を拡大した融資制度、補助金等の拡充・継続
(2) コロナ関係融資返済に対する条件緩和及び利子補給等の充実
(3) 新たな商品券発行等、地域内の消費・観光等を喚起する事業の拡充
(4) 新しい生活様式に基づく事業展開、働き方の見直しへの支援
(5) ワクチンの職域接種、中小企業の共同接種を確実に実施する環境整備と支援の強化
(6) 各種支援施策に関する情報の適切な提供

★2. コロナ後を見据えた販路開拓・地域内取引の活性化及び観光誘客に係る施策の拡充について

- (1) コロナ後の地域経済回復に向けた政策・道筋の明確化
(2) コロナ後を見据えた首都圏等への観光・物産情報発信の拡充
(3) コロナ後に向けた観光データ、マーケティング調査、情報提供の拡充
(4) ふるさと納税を活用した販路開拓の推進
(5) 展示会、商談会への参加に対する支援拡充
(6) 地域内取引の活性化、異業種交流に係る施策の拡充
(7) コロナ後の変化に対応した地域企業のDX導入支援

IV. 中心市街地の活性化

- 1. 第2期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進について
(1) 南銀座通り、一日市通り及び川端通りの一方通行解除及びこれに向けた道路整備の促進
(2) まちなか居住事業の促進
(3) 空き家・空き店舗対策の強化
(4) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進
(5) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など、城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成
(6) カラスの糞害対策の強化

2. 中心市街地の居住、事務所機能の集積等に資する民間事業の活性化について

- (1) 民間事業による居住、事務所機能の集積等に資する支援の創設
(2) 土地の高度利用・景観形成に向けた調査研究
(3) 都市計画高度地区における高さ制限の緩和

★3. 第3期中心市街地活性化基本計画の策定について(新設)

- (1) 中心市街地の魅力を高め、人が集まるための具体的な戦略計画の策定



市議会への要望書提出



鶴岡市への要望書提出

II. 人口減少、少子高齢化対策の推進

- 1. 地域の産業経済を支える労働力の確保について
(1) 高校生・高専生、山形大学農学部、東北公益文科大学等の学生の地元企業への就職の促進
(2) 大学進学者及びU・J・ターン希望者の地元企業への就職の促進
(3) 「つるおかエール」奨学金返済支援制度の周知PRの促進と対応財源確保
(4) 庄内地方における鶴岡工業高校等実業学校及び総合学科の維持・存続
(5) 東北公益文科大学の早期公立化の促進
(6) 製造業・建設業等における生産性向上・省人化に向けての設備投資に対する支援の拡充
(7) 外国人労働者の受入環境の整備

V. 産業の振興



地元選出議員との意見交換会

1. 会議所活動への支援拡充について

- (1) 経営発達支援計画に基づく新規創業、事業継続、事業承継に係る事業の支援強化
(2) 中小企業相談所補助金の増額
(3) 新型コロナウイルス感染症対応事業への支援

2. 国・県及び市の支援施策の適切な情報提供について

- (1) 各種支援施策に関する情報の適切な提供及び総合的ガイドブックの製作
(2) 商工関係団体、金融機関等との情報共有及び連携強化
(3) 産業・経済等に関する統計資料の適切な更新及び提供

3. 企業間の立地及び設備投資等に係る基盤の拡充について

- (1) 用地取得、設備投資に係る固定資産税の減免及び補助制度の拡充
(2) 企業誘致及び既存企業の設備投資・生産計画の拡大を促進するための工業団地の整備
(3) 早期の事業展開「インシャルコスト」低減に資する貸工場の整備

- 2. 産業人材・若手人材の育成について
(1) 庄内地域産業振興センターにおける産業人材育成機能の拡充
(2) 女性・高齢者のスキルアップに対する支援の拡充
(3) 小中学生が地域の産業・経済を知る教育及び科学・ものづくりへの関心を高める教育の拡充
3. 少子化対策の拡充について
(1) 婚活事業の拡充
(2) U・J・ターン希望者への情報提供及び支援の拡充
(3) 子育て世代がより労働しやすい環境の整備
4. 庄内空港の利用回復及び機能拡充について
(1) 運賃の割引など、利用回復・利用拡大につながる助成制度の拡充
(2) 庄内空港利用振興協議会が行う誘客事業等への支援の拡大
(3) 年間搭乗者50万人を目標としたアクションプランの策定及び取組みの強化
(4) 中型機による運航の拡充、運航ダイヤの改善及び5便化に向けた活動の強化
(5) 滑走路延長に向けた調査及び国庫補助採択に向けた要望・活動の強化
(6) 搭乗者の拡大に対応した搭乗手続き、手荷物の受取り、待合室及び駐車場機能の拡充
(7) 国際チャーター便の誘致拡充及びこれに対応した施設の拡充
5. 羽越本線の高速化及び定時運行、羽越新幹線の整備促進について
(1) 速達型特急の創設などによる高速化の推進
(2) 安全・安定輸送に向けた施設整備の促進
(3) 羽越新幹線整備に向けた運動の強化
6. 災害に強い都市基盤の整備について
(1) 河川改修の促進及び雨水対策の強化
(2) 上下水道の耐震化の推進
(3) 降雨量、河川の水位、道路・交通状況など、きめ細やかな情報の提供
7. 観光施設機能の拡充・イベントの開催等に対する支援の拡充
(4) 天神祭及び「庄内大祭」の拡充
(5) 鶴岡お祭りウィーク(赤川花火大会、おひやき祭)の拡充
8. DMOを核とした観光の推進について
(3) 観光施設機能拡充・イベントの開催等に対する支援の拡充
(4) 天神祭及び「庄内大祭」の拡充
(5) 鶴岡お祭りウィーク(赤川花火大会、おひやき祭)の拡充
9. 酒井家庄内入部400年を記念した事業の展開について
(1) 酒井家庄内入部400年に向けた市民の気運醸成
(2) 民間団体等による記念事業への支援施策の拡充
(3) 記念事業としてのプレミアム付商品券等の発行
10. 公共事業の確保及び改善について
(1) 将来的に安定した公共事業費の確保
(2) PFI等による公共事業に係る検討会の設置
(3) 国発注工事に係る地元企業の受注機会の拡大
(4) 入札制度及び格付け基準の見直し
(5) 適正な工期及び工事金額の設定

- 1. 日本海沿岸東北自動車道の整備促進について
(1) 早期完成に向けた要望活動の強化
(2) 鶴岡ジャンクションのフルジャンクション化
2. 東北横断自動車道酒田線の整備促進について
3. 市内の交通網の整備促進及び安心・安全性の向上について
(1) 鶴岡東バイパスの四車線化の早期完成
(2) 県道羽黒橋加茂線の早期完成
(3) 道形黄金線の早期整備
(4) 七日町通りの道路改良の早期完了
(5) 交差点改良の促進
(6) 橋梁及び側溝整備の促進
4. 先端生命科学分野における産業集積及び産学官連携の促進について
(1) 生命科学分野における今後の経済活性化戦略の明確化
(2) 生命科学分野における研究及び産業集積への支援の強化
(3) 研究教育機関発のベンチャー企業育成の取組み強化
(4) 研究教育機関のシーズと企業ニーズとのマッチングの強化
(5) 地域企業とベンチャー企業との情報交換・共同研究・開発の促進
(6) 庄内中高一貫校(仮称)における生命科学分野の人材育成に向けたカリキュラムの導入検討
5. 食文化創造都市の推進について
(1) 食文化創造都市による今後の経済活性化戦略の明確化
(2) 食のブランド化とこれに基づく情報発信、販路開拓の推進
(3) 地域の農林水産物を活用した新製品の開発支援の拡充
(4) 東アジア等に向けた輸出の推進
6. TMO事業への支援強化について
(1) チャレンジショップ事業への支援強化
(2) 若手後継者の育成及びその活動への支援
(3) 中心商店街への観光客誘導に資する事業への支援強化
(4) 商店街組合の活動強化を図るための組合間連携への支援
7. まちなか観光の推進について
(1) 城址公園としての鶴岡公園整備計画の策定及びその推進(再掲)
(2) 鶴岡公園から中心商店街に至る道路及び内川周辺の整備など城下町としての趣き・風情を大事にした景観の形成(再掲)
★…新規又は見直し事項

鶴岡・庄内を知る講座

庄内酒井家入部400年(2022年)を前に、庄内の歴史、文化、精神を学び、これからの新たな時代にむけて、私たちはどう歩んでいくべきかを考える機会にしよう」と開催した「鶴岡・庄内を知る講座」。3年目となる今回は「黒川能をテーマに、黒川春日神社下座能太夫の上野由部さんより3回シリーズでご講話いただきました。

講座の中で、上野さんは「能は武藤家が出羽守を拜命し、足利8代・義政に謁見に行った(1464年)頃、庄内に入ったのでは」とし、その後1622年の酒井家庄内入部以降は、藩主が鑑賞する「上覧」があり、装束や道具など必要なものをいただきながら続いてきた「黒川能」の歴史などを解説しました。

第2回の講話では、「王祇祭」は別名「とうふ祭」と呼ばれるほど多くの「豆腐」が食され、上座と下座では味付けが違うことなどを紹介。「食」は祭りには欠かせないもので、準備から祭り当日まで、地域の食材を使った精進料理や酒が多く振舞われる

ことを説明。続けて、鶴岡市はユネスコの「創造都市ネットワーク」に食文化の分野で初めて認められた(2014年)ことにも触れ、この「王祇祭」に関わる「食」も鶴岡の大切な文化のひとつになっているとしました。

最終回の講話で上野さんは「黒川の能は観客のためではなく、神にささげる能。だから演じ方を変える必要がなかった」と解説。その後、黒川能下座の皆さんによる舞囃子(能面や衣装を着けずに舞う)「岩船」を上演。約500年もの間、氏子たちの手によって連綿と伝承されてきた「神事能」を実際に鑑賞し、学びの深い講座となりました。



会場/東京第一ホテル鶴岡

第1回
11/10(※)
「黒川能の歴史」
～酒井家との関わり～
受講者/50名

第2回
11/17(※)
「黒川能と食」
受講者/45名

第3回
12/1(※)
「能のはなし」
上演:舞囃子「岩船」
黒川能下座
受講者/54名



黒川春日神社下座
能太夫 上野 由部氏



上演:舞囃子「岩船」

11/16(火) 地元のお酒を使った 熱燗勉強会

当会議所では、DEGAM鶴岡ツーリズムビューローと連携して取り組む「出羽三山詣」で「食と銘酒で語らう旅」プロジェクト推進事業の一環として、冬季観光コンテンツの強化を図るため、市内の旅館や飲食店関係者を対象にした熱燗勉強会を開催しました。新潟県長岡市を拠点に各地で日本酒講座を開いている元蔵元を講師に迎え、料理を引き立てる熱燗の提供の仕方を学びました。

普段は絶対に熱燗にしない種類のお酒を温めたり、スパイスを加えたり、酒の肴にチーズや甘味を合わせてみたりする等、一つの実験の機会を提供することで参加者も多くヒントを得たようでした。

会議所ではアフターコロナを見据え、お客様満足度の高い新サービスの開発と、交流人口の増加ならびに観光関連消費の促進に努めてまいります。

主催 鶴岡商工会議所
協力 DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー
場所 蔵屋敷LUNA
講師 日本酒浪人/元「美の川酒造」蔵元 松本 英資氏
参加者 9名



講師自ら熱燗 専用開発した 酒器「朱鷺燗」

主催/鶴岡商工会議所、
鶴岡商工会議所観光部会

鶴岡市「酒井家庄内入部」400年記念事業

協賛事業

令和3年度のまち歩きイベントは、来年に迎える酒井家庄内入部400年にちなんで、酒井家に関連した内容で2回実施しました。



2つのイベントの参加者には400年記念事業公式トートバックをプレゼントしました!

酒井家ゆかりのまちなかめぐり

市街地の酒井家ゆかりの地を訪れるまち歩きを企画。鶴岡市観光ガイドの案内で、歴代藩主のうち4人を祭る庄内神社、藩主の隠居所だった致道博物館の御隠殿、酒井家のかつての菩提寺・大督寺、旧庄内藩校致道館などを訪問しました。まち歩きには老舗料亭・新茶屋での「鶏飯」付き昼御膳や菓子店巡りも組み込み、まちなかの賑わい創出も演出。参加者の中には親子連れもあり、老若男女問わず楽しく美味しく酒井家に触れる機会となりました。

庄内神社
鶴岡公園
致道博物館
大督寺
新茶屋

藤田菓子舗
久栄堂
鷺田民蔵商店
遠州屋
致道館

令和3年
11.28
SUN.

歴史探訪〜櫛引めぐり

春日神社
王祇会館
丸岡城跡(楽朋館)
天澤寺
本住寺
大多喜亭



本住寺では毎年、清正公の命日にちなみ7月24日に清正公祭を実施している

丸岡城跡にある楽朋館で櫛引観光ガイドの前田勝会長より解説を聞く参加者ら

おやつは佐久のシフォンケーキ、「えくぼ」のフランク、翁最中と、櫛引の味覚満載!

酒井家との繋がりがや新たな鶴岡の歴史を知ること、地元愛を育んでもらうため、歴史と文化溢れる櫛引エリアを巡りました。国指定重要無形文化財の黒川能を今に伝える王祇会館や黒川地区の鎮守・春日神社、戦国武将・加藤清正公の嫡子忠広公が配流され加藤家終焉の地とされる丸岡城跡や天澤寺のほか、忠廣公とその母・正応院が眠る本住寺も訪問。老舗料亭・大多喜亭で地元旬の食材たっぷりの昼食を食べ、櫛引にちなんだおやつももらい、参加者は全身で櫛引の魅力を感じることができました。

当会議所では、酒井家庄内入部400年記念を契機とした更なる観光振興のため、来年度も鶴岡の新たな魅力を積極的にPRしてまいります。

買おか、食べよか、つつるおかスタンプラリー

会員事業所の店舗を巡り、買い物や飲食を楽しみながら店舗の魅力を再発見してもらうことを目的とした事業「買おか、食べよか、つつるおかスタンプラリー」を12月17日(金)から1月31日(月)の期間で開催。食堂やレストラン、すし店などの飲食店や生活用品や花、書籍などの小売店、理美容、写真店など149の店舗が参加しました。4つのスタンプが押された応募台紙がたくさん届いており、応募者の中から特賞の市内宿泊施設ペア宿泊券7本、2等〜4等のつるスタ賞の鶴岡名産品詰め合わせ100本を2月に抽選し、当選者に発送いたします。



バルナール鶴岡
洋食チーフ 工藤知成さん

第2回 鶴岡No.1次世代料理人 決定戦

東京第一ホテル鶴岡
調理部中華料理 宮崎幸也さん

鶴岡市は豊かな食材・食文化を有し、先人たちの知恵と情熱によって独自の食文化を今に伝えていきます。今後もこうした優れた食の未来を切り開き、けん引していく力を発掘しようと鶴岡市内で調理に携わる45歳以下の料理人を対象に、鶴岡食文化創造都市推進協議会が開催しています。今回準グランプリを受賞された会員事業所のお二人をご紹介します。

《審査テーマ》
あつみ豚を使った新しいレシピ・料理での鶴岡ガストロノミーの表現



「桜美豚バラ肉と柑橘ハチミツのラケ 鶴岡産秋の恵と月山ワインのアクセント」

★バルナール鶴岡にて「スペシャルランチセット」として提供中!

●受賞の感想や出場された経緯、苦勞したこと
職場の同僚が前回大会で準グランプリをとった姿を見て、自分ならどのようなコン셉トで、どのように表現するだろうと興味があり出場を決めました。自分の想いを文章や動画で表現し発信することや、通常業務をしながらの大会活動には苦勞しましたが、同僚や生産者など沢山の方々の協力のおかげで準グランプリをいただくことができました。ホッとした気持ちもありますが、優勝できず悔しい気持ちもあります。鶴岡は質の良い食材が豊富で、人々の生活に根付いている特別な地域です。



●受賞料理の特徴やおすすすめポイント
この大会を通じて鶴岡の食文化や歴史について多くのことを学ぶことができ、料理人として貴重な機会になりました。
受賞料理の特徴やおすすすめポイント
羽黒山をコン셉トに、多様な鶴岡の魅力を一皿に表現。桜美豚の上品な甘味や脂身を活かすため、月山ワインで真空調理後、柑橘やシソ、胡椒をアクセントに香ばしく焼き上げています。一度燻製した香り高いマッシュポテトとの相性も抜群です。庄内米はえぬぎを使用したボン菓子、ビネガーを塗りローストした「えくぼの林檎」、在来作物の赤かぶや赤葱を添え、大鳥居や紅葉を思わせる赤色をモチーフに華やかにまとめられています。

「桜美豚の八角煮込み 柿ソースとともに」

★東京第一ホテル鶴岡にて「冬のパーティープラン」として提供中!

●受賞の感想や出場された経緯、苦勞したこと
自身の料理がどのくらい通用するのかチャレンジしたいという気持ちがありました。若手の人材不足と言われる中、若い料理人同士が交流し、切磋琢磨して鶴岡の食を共に盛り上げたいという想いもあり、挑戦を決めました。コンテスト当時、モナミミナ店に勤務しており、練習するタイミングが多く取れず苦勞しました。審査のテーマである「鶴岡ガストロノミー」について、自分なりの答えを料理に反映させることが難しかったですが、庄内の食材を学び、これまで以上に料理に真摯に向き合うきっかけを頂いたことは今後の料理人人生においても貴重な経験で、料理に対する姿勢が変わったと思います。食のアンバサダー



●受賞料理の特徴やおすすすめポイント
として日々勉強しながら、自分の料理を食べてくれた人を幸せにしたいです。その一皿に「口福(こうふく)」を感じてもらえるよう努力していきます。
●受賞料理の特徴やおすすすめポイント
あつみ豚の朝の情景をイメージし、色鮮やかに仕上げました。豚をそのまま食べたとき、ソースを付けて食べたときの違いを楽しんでいただけるような味にしました。さらに、添えられている野菜は全て火の入れ方を変え、食感を楽しんでいただけたらと思います。

老舗紹介

創業100周年 ミートデリカ・クド

創業当時の様子

大正11年、鶴岡市にまだ食肉販売店が無い時代、工藤賢三(現社長の祖父)が家畜商に併設して旧七日町通りで「工藤肉店」を始めました。昭和4年に旧五日町に移転、昭和20年に建物疎開により今の昭和通りができました。

お仕事の内容

かつては枝肉を解体してブロックにし、肉のスジを取り、牛刃で食べるサイズに切ることが肉屋の職人の仕事でした。現在は分業化、手作業から機械化へと変わり、全工程を手作業でできる人は鶴岡でも数少なくなりました。昭和40年代中頃から弁当販売を始め、昭和63年に1個ずつアツアツの弁当を作るスタイルを確立し、平成12年に総菜工房を新築、お惣菜バイキングコーナーを始めました。昨年「弁当・そうざい専門店」として、朝陽町に移転リニューアルしました。



代表取締役 工藤 秀彌さん
取締役 佐藤 真由美さん

守り続ける「まもる」

「生きていくために商売をし、生活していくことが始まりでしたが、現在は生活の変化に適応しながら、「店」は客の為にあり、小売業は地域の人の暮らしを守り、育て、社会文化の発展に役立つことであり、そのことを店の使命とする。「これ終わりにくく続けることです。」

今後の取組み・目標

- ①信用のある店が②信用ある商品があることをモットーに、地域を代表する弁当・そうざい専門店を目指します。



1957年「工藤精肉店」の頃

1969年「肉のクドウ」の頃

2000年店舗改装

有限会社 ミートデリカ・クド
鶴岡市朝陽町1-5 TEL.0235-22-1297
https://meatdelica-kudo.com/

女性会活動報告

「若手後継者等育成事業」 鶴岡商工会議所女性会研修会

【主催】鶴岡商工会議所 女性会
【参加者】18名
10/21 thu.



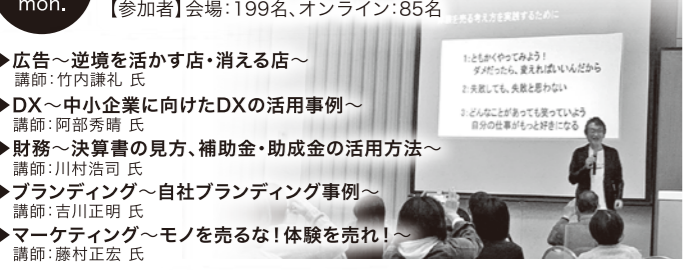
↑研修会: 庄内神社 参集殿
演題「酒井忠勝公庄内入部400年を寿ぐ～藩主と領民の絆～」

通常は酒田商工会議所女性会と合同で開催している研修会ですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、鶴岡の女性会のみでの開催となりました。鶴岡市立加茂水族館様の見学では、奥泉館長よりお話をいただきました。コロナ禍の状況変化に対応した発想の転換の必要性等、経営者目線からのお話で、経営者としての刺激を頂きました。研修会では、庄内神社 石原宮司からユーモアを交えて分かりやすく鶴岡の歴史についてお話をいただき、楽しく学ぶ事が出来ました。

青年部活動報告

「経営強化育成事業」 鶴岡元気企業育成セミナー2021

【主催】鶴岡商工会議所 青年部/共催 鶴岡商工会議所 女性会
【会場】グランドエル・サン
【参加者】会場:199名、オンライン:85名
11/15 mon.



- ▶ 広告～逆境を活かす店・消える店～
講師: 竹内謙礼 氏
- ▶ DX～中小企業に向けたDXの活用事例～
講師: 阿部秀晴 氏
- ▶ 財務～決算書の見方、補助金・助成金の活用方法～
講師: 川村浩司 氏
- ▶ ブランディング～自社ブランディング事例～
講師: 吉川正明 氏
- ▶ マーケティング～モノを売るな! 体験を売れ!～
講師: 藤村正宏 氏

一昨年より続いているコロナ禍の影響は今までの生活を一変させました。それは地域経済も同様です。コロナ前と同じ経営を行うだけでは、地域企業の経営はより厳しくなることが予想されます。よって、コロナ禍で失われた地域経済の回復と事業の継続、発展に繋がるヒントを探る機会を設けました。当該事業は、経営に必要な分野を5つに絞り、そのテーマに特化した講師を招いてセミナーを開催。セミナーの受講形態を選択型にし、オンライン受講ができるようにした点も好評でした。また、企業ブースを設置し、企業のPRの場を設けました。

一部のセミナーは青年部YouTubeチャンネルでアーカイブ配信をしております



鶴岡商工会議所 景況調査

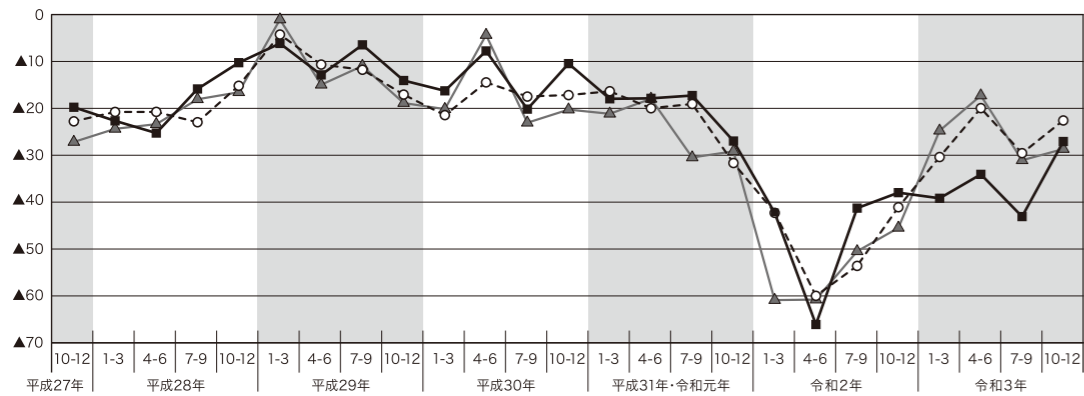
鶴岡商工会議所では、平成22年度より、管内の景気動向を把握するため、会員事業所を通して四半期ごとの景況(業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り)をアンケートによって調査しています。

※DI値とは、「好転」「良い」「増加」「黒字」とする事業所の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「赤字」とする事業所の割合を差し引いた値を表しております。

令和3年10月～12月期

*調査対象:会員事業所260社 *回答数:112社(回答率43.1%)

●業況DI(全業種)



●今期水準(令和3年10-12月)は、16ポイント改善し▲26.6となった。

●対前年同期(令和2年10-12月)は、7.0ポイント改善し▲22.1となった。

●来期見通し(令和4年1-3月)は、2.4ポイント改善し▲28.2となった。

※全業種業況DIは、前回調査と比べ全ての項目が改善している。調査時はコロナ第5波が落ち着いた時期に行っており、その状況が反映していることが伺える。

●経営上の問題点

🏠 建設業

前回調査と同様に「材料価格の上昇」が最も多く、「従業員の確保難」、「民間需要の停滞」、「熟練技術者の確保難」が続いている。また、「官公需要の停滞」を第一課題に挙げている事業所も目立った。これまでと同様に新型コロナウイルスの影響による材料不足、高騰が経営に大きな影響を与えている。公共事業の発注が減少しており、来年度以降の動向を注視しているとの声あり。

🔨 製造業

「原材料価格の上昇」が突出して多く、次に「従業員の確保難」、「人件費の増加」が続いている。このように厳しい経営課題に加え、世界的な半導体等原材料不足や市場の冷え込み等経営に及ぼす影響を危惧する声あり。

📦 卸売業

「仕入単価の上昇」が最も多くなっている。次に「人件費の増加」、「需要の停滞」等が続いている。仕入を含む経費の増加が経営課題として目立っている。また、仕入単価の上昇は卸値にも影響するため、商売が難しい状況が続いているとの声あり。

🏪 小売業

前回の調査と同様に「需要の停滞」が最も多くなっている。次いで、「仕入単価の上昇」、「消費者ニーズの変化への対応」等が続いている。また、コロナ第5波の影響を受け厳しい調査結果となった前回と比べ、各分析項目は改善傾向となっている。一方、事業者からはコロナ禍での経営を前向きに見直しているとの声あり。

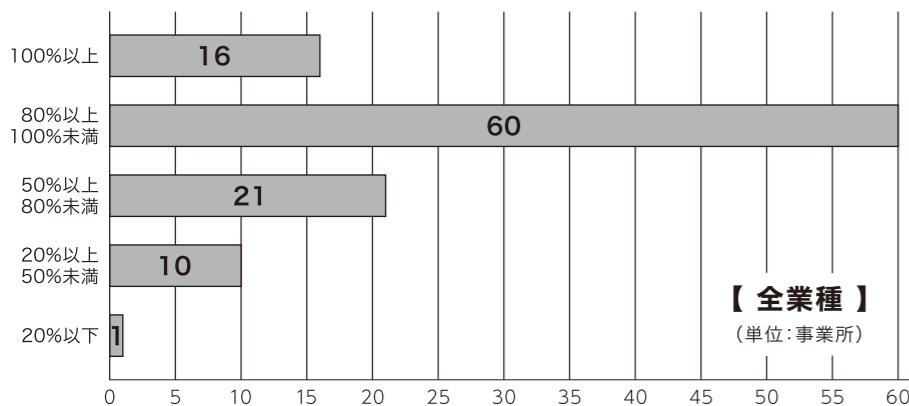
★ サービス業

前回調査と同様に「需要の停滞」が突出して多くなっており、次に「材料費等仕入単価の上昇」、「人件費の増加」が続いている。コロナの感染者数が落ち着いたことにより、各分析項目は改善している項目が目立った。

付帯調査

▶▶▶ 「今期とコロナ前の売上高」の比較

今期(令和3年10月～12月)とコロナ前(令和元年10月～12月)



全業種では「80%以上100%未満」を選択した事業所が回答の55.6%にあたる60事業所となっており、最も多い項目となっている。また、「100%以上」を選択した事業者は14.8%にあたる16事業所あった。当該調査の調査期間は、第5波が落ち着いた時期に行ったこともあり、前回調査と比べて売上高がコロナ前の水準に回復している事業所が多く見られる結果となった。

鶴岡市経済動向資料について

鶴岡市の経済に関する資料をまとめ「鶴岡市経済動向」として公開しています。地域経済の動きを知るための一資料としてご利用ください。



QRコードからダウンロードしてください

新型コロナウイルス感染症・ウィズコロナ・ポストコロナに関する

各種支援策のご案内

事業復活支援金

コロナ禍で大きな影響を受けている事業者の方に、地域・業種を問わず、固定費負担の支援として売上高減少分を基準に算定した額を一括給付する支援金です。詳しくは折込みチラシまたはホームページをご覧ください。

事業復活支援金事務局 相談窓口

お問合わせ ☎0120-789-140 (IP電話から:03-6834-7593 ※通話料がかかります)
(8:30～19:00 ※土日祝日を含む全日対応)



詳しくは
チラシは

山形県飲食業等緊急支援給付金

夜9時以降も営業している酒類の提供を行う飲食店及び酒類卸売業、カラオケボックス業、洗濯業(おしぼりのレンタル・リース)、労働者派遣業(芸妓・コンパニオン等)及び運転代行業者で、10～12月のいずれかの売上が前年又は前々年同月比で30%以上減少した事業者への支援金です。

お問合わせ 山形県飲食業等緊急支援給付金コールセンター

☎0570-783-075 (9:00～18:00 ※土日祝日を除く)



詳しくは
チラシは

小規模事業者持続化補助金(一般型)

販路開拓や生産性向上など持続的発展を図る取組みをおこなう事業者を支援する補助金です。

補助上限50万円、補助率2/3、第7回締切:2月4日(金)、第8回締切:調整中

お問合わせ 持続化補助金事務局 ☎03-6747-4602(9:30～12:00、13:00～17:30 ※土日祝日を除く)



詳しくは
チラシは

小規模事業者持続化補助金(低感染リスク型ビジネス枠)

ポストコロナを踏まえて、人との接触機会を減らす感染症対策を踏まえた新たなビジネスやサービス、生産プロセスの導入等の取組を支援する補助金です。

補助上限100万円、補助率3/4、第6回締切:3月9日(水) 17時

お問合わせ 持続化補助金低感染リスク型コールセンター ☎03-6731-9325(9:30～17:30 ※土日祝日を除く)



詳しくは
チラシは

新型コロナウイルス対策マル経融資制度

新型コロナウイルスの影響を受けた小規模事業者を対象としたマル経(小規模事業者経営改善貸付)融資制度です。当初3年間は利子補給制度により実質金利0%です(その他要件があります)。

お問合わせ 鶴岡商工会議所 経営支援課 ☎0235-24-7711



詳しくは
チラシは

更新中
随時



上記以外にもたくさんの支援策があります。
最新の内容については、鶴岡商工会議所ホームページにてご確認ください。

企業の経営課題解決に向き合い持続的経営を支援

AFTERコロナ・WITHコロナ時代を乗り越えるセミナーの開催

10/27水
 鶴岡TMO
 商店・商店街レベルアップ事業
 商店・商店街魅力向上セミナー
今からでも遅くない！
キャッシュレス決済
活用セミナー

近年、キャッシュレス決済の普及が進む中、決済手段として地位を確立しつつある一方、未導入の事業所が多いことも事実です。本セミナーで横田講師は「キャッシュレス決済比率の状況は2015年で18.4%、2021年で29%となっており、国はキャッシュレス決済の割合を2025年までに4割を目標としている」「クレジットカード決済導入企業における手数料率の平均値は3.09%。QRコード決済を導入することで経費を利益に変える」と述べた。また、キャッシュレス決済を導入（継続する場合、「クレジットカード・電子マネー・QRコードなどが使えるマルチ決済サービス

場所：鶴岡商工会議所会議室／オンライン
 講師：イースパイア㈱ 代表取締役
 ネットビジネスアナリスト 横田 秀珠氏
 共催：鶴岡商工会議所小売商業部会
 鶴岡商店会連合会
 受講者数：6名



利用「令和3年度から開始した総務省の誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化事業、スマホの使い方をお店がお客様に教える取り組み」を解説。販促につなげるには、「毎月発表されるスマホ決済の販促キャンペーンを把握し便乗する」「キャッシュレス決済で売上客単価×客数×リピート数アップが見込める」と活用事例を紹介しました。

9/16水・10/18日・11/2火
Webを活用した
販路開拓セミナーを開催



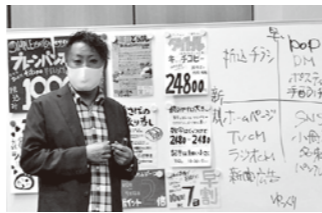
初心者向けのWeb活用セミナーを3回シリーズで開催。
 1回目は、㈱にぎわい研究所の村上代表による「自店に合ったネットショップの選び方講座」を開催。近年のECの動向、独自ショップの立上げ方、オンラインショップで売上を上げるために必要なことについて学びました。
 2回目は、BAS E㈱の宮本氏による「イチからはじめる、ネットショップ開設

場所：鶴岡商工会議所会議室
 講師：㈱にぎわい研究所 代表 村上 知也氏
 BAS E㈱ 宮本 順一氏
 Grow with Google
 パートナー 榎本真太郎氏

11/26金
 鶴岡TMO
 商店・商店街レベルアップ事業
 商店・商店街魅力向上セミナー
手づくりPOPで
売上アップ！

現役靴販売店マネージャーである講師が、販売というのは「自分が最初に儲けるのではなく、お客様の不便・不満を解消するのがスタート。お客様は出来ないことをしてくれるから喜ぶ。」と売り場での自身の体験を語りました。続いて「手づくりPOPは低コストで情報発信ができ、早く結果が出る。上手でなくて良い。小学高学年に伝わるように書く」と説明。効果的なPOPのポイントとして
 ◇自分で商品を試す。感じたこと、思ったことを簡条書きで書き、それをまとめて最終的にPOPに書く

場所：鶴岡商工会議所会議室
 講師：おくま式POP塾 代表 小熊憲之氏
 共催：鶴岡商工会議所小売商業部会
 鶴岡商店会連合会
 受講者数：15名



◇買物をするときあてにする、POPに
 ◇お客様にメリットを伝える、自分のことに置き換えて考えてみる
 ◇伝えたい情報は具体的に、商品の価値を見える化する
 ◇一番売れている商品を書く
 また、POPで「売る」ために書いて貼るだけでなく、商品売り場のあちこちに置く。場所を動かしてみよう。等の事例を紹介し、商品の魅力を伝える、売上アップにつながる手づくりPOPの書き方を実習を通して学びました。

11/22日・11/26金
「移動商工会議所」
開催報告



第五学区「ミセン」での懇話会の様子

第六学区「ミセン」での懇話会の様子

商工会議所では、夜間当所役職員が地域に伺い、経営に役立つ情報提供と相互の交流を図る「移動商工会議所」を開催しております。
 今年度は、第五学区「ミセン」と第六学区「ミセン」を会場に、会員の皆様方にご協力頂きました「新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査」の報告や、コロナ関連補助金・給付金・支援金等の情報提供と活用事例を紹介しました。更に、マル経融資や消費喚起「つるおかスタンプラリー事業」、10月から登録申請が始まった「インボイス制度」、販路開拓につながるセミナー・展示会等について説明しました。

参加者からもコロナ禍における経営状況や課題についてお話を伺った後、懇話会では事業承継や税務などの不安に対して、参加者が体験談をお話して下さるなど、「移動商工会議所ならではの」有意義なひと時となりました。

11/25水
アフターコロナを
見据えた食品輸出対策
セミナーを開催

ゼエトロ山形の長谷川氏を講師に迎え、「アフターコロナを見据えた食品輸出対策セミナー」を開催しました。農林水産物及び食品輸出額の推移データを読み解くと、コロナ禍でも輸出額は伸長しており、2021年は

①ビフォーコロナ、ウィズコロナ、アフターコロナの各段階における、各国の社会・経済状況
 ②コロナ禍における食品輸出の状況
 ③ウィズコロナ、アフターコロナにおける各国の消費動向の変化・行動変容
 ④今後伸長が期待される分野や鶴岡の地域産品
 ⑤海外展開する際のポイントや注意点
 ⑥輸出未経験者向け、輸出の始め方

場所：鶴岡商工会議所会議室／オンライン
 講師：ゼエトロ山形 食品担当 長谷川美樹氏
 共催：ゼエトロ山形
 過去最高額となった2020年の9,217億円を更新することが確実視されています。
 2020年実績を品目別に見ると、日本酒などのアルコール飲料や鶏卵が増大しています。が水産物・穀類はコロナにより飲食店が閉店していることが影響し前年比22%以上減少。
 2021年7月までの実績を見ると、中国ECで日本酒が増加、建築用丸太資材も増加している一方で、前年好調だった鶏卵が鳥インフルエンザの影響により前年同月比21%減少。国別の輸出額では、中国が長年1位だった香港を初めて抜くことが予想されています。
 バイヤーが商品選定時に重視する点は、日本の人気実績と、他国での売れ行き・知名度だといえます。そのため、先ずは国内での販売実績を着実に積み上げることが重要です。

11/4水
 鶴岡商工会議所
 経営安定・オンラインセミナー
「勝ち残るお店 消費するお店」
その違いは！

コロナ禍における消費生活動向は変化しており、知らないお店に入る不安から利用経験のあるお店を選ぶ傾向が圧倒的に強くなっています。顧客管理を徹底し、従来からのお客様から何度もご利用いただく取組みが重要となります。
 既存商品を変えずに、セットもの盛り合せ・インスタ映えにするなど「商品の編集により売上確保ができた事例や、季節・時間・持ち帰りなど「限定商品」の工夫、「消費者心理」を活かしたメニュー構成、コメントを書き添えた表示で「お客様の注目度」を上げる方法など、各店で

場所：鶴岡商工会議所会議室／オンライン
 講師：㈱繁盛店研究所代表取締役
 中小企業診断士 ハワード・ジョイマン氏
 受講者：会場オンライン12名／オンライン8名
 すぐに実践できるような販売手法を学びました。
 先生と受講者をズームでつないでの対話型セミナーでしたが、「集客につながる工夫・アイデアが勉強になった」、「業種ごとの具体的な事例とアドバイスが良かった」、「今日から実行します」などの感想をいただきました。
 また、翌日には先生から講演動画が届き、送信可能な受講者に配信しました。



材料を変えず見せ方に工夫

12/17金
 鶴岡の食の魅力を引き出す！
商品開発・
販路開拓セミナー



場所：鶴岡商工会議所会議室
 講師：(社)全国スーパーマーケット協会 シニアディレクター 初山朋輝氏
 当所にて「鶴岡の食の魅力を引き出す！商品開発・販路開拓セミナー」を開催、(社)全国スーパーマーケット協会シニアディレクター初山朋輝氏を講師に迎え、鶴岡の食の魅力を生かした商品開発・販路を域外でも開拓する手法を学びました。このセミナーでは、食品流通マーケットの現状のデータや社会情勢・日本人のライフスタイルに基づき、今後伸びていくであろう業態の紹介、消費者に広く受け入れられる商品の開発手法、バイヤーに売り込むための販売戦略について非常にわかりやすく講義いただきました。

11/24水・12/9水
経営力向上のための
経営計画講習会



場所：庄内産業振興センター 第一研修室
 講師：川村中小企業診断士事務所代表 中小企業診断士 川村浩司氏
 共催：(公社)鶴岡法人会
 「会社の数字の読み方、活かし方」、「経営計画作成講習会」の2回に分けて、経営力向上のための経営計画講習会を開催しました。
 「まずは自分の会社の状況を正確に知ることをテーマに講義が始まりました。決算では貸借対照表や損益計算書を作成しますが、「それぞれどのような意味を持ち、どのように読み解くか」「自分と銀行、コンサルタントではどこを見ているのか、どのように目標が違ってくるのか」その上で、どのように問題点・課題を整理するか」などを学びました。
 自社を分析し経営戦略を立て具体的に動く企業でなければ、このコロナ禍を生き抜くことはできません。そのためにも、帳簿等を税理士さんに任せきりにするのではなく自分でも会計資料の作成ができるようにとの目標が与えられました。

首都圏向けオンラインショップ紹介事業
『TSURUOKA ONLINE SHOP TOWN』を発行

新型コロナウイルスの影響により、営業活動が制限されている会員事業所の販売機会・消費者接点を創出することを目的に、ウェブショップを持つ会員紹介事業を実施しました。友好都市江戸川区を中心とする首都圏に対し、28事業所のオンラインショップを掲載したパンフレット『TSURUOKA ONLINE SHOP TOWN』を6,000部配布。読者は、紙面に広がる仮想の街でウインドウショッピングを楽しんでもらい、気になるショップがあればQRコードを読み取り各オンラインショップへ入店いつでもどこでも買物が楽しめます。
 参加店舗からは、「オンラインショップを立ち上げたものの認知度を上げられなかった。これを機に鶴岡に所縁のある方々に知ってもらえ売上にも繋がった」など、好評を得ています。





12/8 水

「新入社員フォローアップセミナー」を開催

当所で例年開催しているセミナーを今年度はInquiry合同会社 founder、CEOの山本一輝氏にお願いし、「ルーキーズカレッジ」と題して庄内産業振興センターで開催しました。午前の部では、入社3〜5年の先輩社員に自社の紹介や選んだきっかけ、地元で就職を決めた理由等についてお話しいただきました。その後、受講者から集めた質問をもとに先輩社員と講師とのトークセッションを行いました。午後の部では、withコロナにおけるコミュニケーションやキャリアデザイン講義、グループワークを織り交ぜたセミナーをしていただきました。受講者からは「同世代と交流できてよかった」、「働く上でためになることを学べた」等の意見が寄せられました。



12/7 火

「経営者・人事担当者ミーティング」を開催

当所にて経営者・人事担当者を対象としたミーティングを開催しました。第一部では当所で行った「採用実態調査の結果について」を報告、第二部ではInquiry合同会社 founder、CEOの山本一輝氏より、「社会情勢に伴う人の意識や働き方の変化」、「これからの時代で選ばれる組織となるために」、「with/afterコロナにおける採用育成、定着支援」を中心に講演いただきました。講演の他にも、参加した事業所の方々が自社の採用状況やコロナ禍での採用活動等について意見交換を行いました。



講師の山本 一輝 氏

10/21 木

インボイス制度の概要と電子インボイス導入に向けた実務対応

場所：庄内産業振興センター
講師：税理士法人トリプル・ウィン顧問 税理士 星 叡 氏
参加：30名

令和5年10月1日より消費税インボイス制度が適用開始となります。当制度についてのセミナーは今回で3回目でした。昨年の10月1日よりインボイス制度の事前準備にあたる適格請求書発行事業者登録制度が開始されたこともあり、例年より多くの方々が参加して頂きました。これまでの消費税制の改正は課税事業者に関することがほとんどでした。しかし、インボイス制度は免税事業者にも大きく関係する制度です。インボイス制度の導入により消費税制が大きく変わろうとしていますので、事業者の皆様は当制度についてある程度把握する必要があります。当所でのセミナーや窓口相談を利用して頂き、インボイス制度への準備をお願いします。

セミナーの主な内容

- 2023年10月1日から！適格請求書等（インボイス制度）が導入されます
 - 適格請求書とは
 - 適格請求書発行事業者登録制度
 - 適格請求書発行事業者の義務等（売手側の留意点）
 - 仕入税額控除の要件（買手側の留意点）
 - 税額計算の方法
 - 免税事業者の登録手続 等
- 電子帳簿等保存制度とは
 - はじめませんか、帳簿書類の電子化
 - はじめませんか、書類のスキャナ保存
 - 令和2年度税制改正による電子帳簿等保存制度の見直し
- インボイス制度が進める税務の電子化
 - 電子帳簿保存法と消費税
 - 適格請求書等保存方式と電子インボイス
 - 電磁的記録の保存と税務署長の承認 等



11/5 金

鶴岡の未来のものをづくりを考える講演会



場所：東京第ホテル鶴岡 鶴の間
講師：三重大学名誉教授・(社)ALFAE 代表理事 電岡孝治氏

工業部会・技術者ネットワーク主催「鶴岡の未来のものをづくりを考える懇談会」を開催しました。今回は三重大学名誉教授・(社)ALFAE 代表理事電岡孝治氏をお招きし「データ駆動型社会における六次産業化地域コミュニティの可能性」と題し、農業の六次産業化・スマート農業・DXについて動画を交えながら講演いただきました。また、「地場企業の取り組み」として第1・2・3次産業それぞれから、製品製造・業務効率改善のため革新的な取り組みにあたれている市内企業（治五左衛門様・株式会社東北ハム様・有田社三井農場様）より、その取り組みに至った経緯・取り組みの内容・成果、今後の課題等をお話いただきました。

2021 ディスプレイコンテスト



総合評価 最優秀賞

株式会社 エルム

インパクト部門 最優秀賞
季節感部門 最優秀賞
ストーリー部門 最優秀賞



総合評価 第2位

株式会社 ファンシーフラワー
季節感部門 最優秀賞



総合評価 第2位

株式会社 エムロード
商品訴求部門 最優秀賞



総合評価 第4位

株式会社長南牛肉店
ストーリー部門 最優秀賞



総合評価 第5位

千一珈琲
楽しさ部門 最優秀賞
ストーリー部門 最優秀賞



総合評価 第5位

キレイ叶うLuminous.My
ツルオカ薬局



株式会社トキワ屋

商品訴求部門 最優秀賞



12/6 月

パソコン仕事自動化ロボットRPAセミナー



場所：鶴岡商工会議所会議室
講師：ティヴォートソリューション株式会社 代表取締役社長 洞本昌明氏

働き手が今後さらに減少していく社会情勢を見据え、省力・省人化、生産効率の向上、業務プロセスの最適化に向けた具体的なソリューションサービスの研修を目的に、パソコン仕事自動化ロボットRPA (Robotic Process Automation) セミナーを開催しました。このセミナーではティヴォートソリューション(株)代表取締役洞本昌明氏より、オンラインでRPAの概要・利便性についてご講演いただき、続いて同社が開発したRPAソフト「アシロボ」を、実際に出席者に操作・体験していただきました。



11/9 火・11/10 水

工業部会・鶴岡エネルギー懇談会 合同視察研修会

玉川第二発電所は、東北自然エネルギー(株) (東北電力企業グループの再生可能エネルギーの専門中核会社) が、東北地方の利用可能な水力エネルギーを有効活用し、将来にわたって安定した電気を供給する、現在建設中の水力発電所です。視察では発電所の概要と工事状況について丁寧にご説明いただき、稼働後は見ることのできない、発電所の内部まで見学させていただきました。参加者も熱心に見学し、活発な質疑応答・意見交換がなされました。

東光は、安土桃山時代に創業し、後に上杉家御用酒屋を承った酒蔵・小嶋総本店が醸造する、国内外の鑑評会でも評価の高い日本酒です。吾妻山の雪解け水がもたらした上品な口当たりの地下水を酒造りに利用しています。酒蔵では江戸・明治時代に使われていた得意先帳簿や酒造りの道具が展示されており参加者は興味深そうに説明に耳を傾けていました。



アクサ生命

みんなと 会社の未来を 健康に。

健康経営アクサ式

人生100年時代だからこそ、アクサの健康経営を。
心と身体の健康だけでなく、夢や生きがい、
働きがいといった「社会的健康」までサポート。
社員一人ひとりが生き活きと元気になることで、会社がひとつになり、
生産性も向上する。そんな好循環を生みだしていきます。

Know You Can

そう。あなたなら、できる。

AXA-A2-2109-0345/9F7 「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 山形支社 鶴岡営業所
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-13 鶴岡商工会議所会館3階 TEL0235-24-0896

鶴岡商工会議所 定例常議員会

報告事項

- (1)10月の各種会議報告
- (2)管内の景況調査(7月~9月期)集計結果について
- (3)採用関連実態調査について

協議事項

- (1)新会員の承認について
- (2)第60回 会員企業従業者表彰及び第18回 創業・創立記念会員事業所顕彰について

その他

- (1)国井副会頭の山形県産業賞受賞祝賀会について
- (2)鶴岡ものづくりプラットフォームについて
- (3)里親制度推進について
七窪思恩園 園長 増田 康平 氏

10月

報告事項

- (1)11月各種会議報告
- (2)工業部会視察研修報告
- (3)女性会活動報告
- (4)鶴岡市への要望書提出報告
- (5)「酒井家ゆかりのまちなかめぐり」開催報告
- (6)第5回新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査結果

協議事項

- (1)新会員の承認について

その他

- (1)12月定例常議員会について
- (2)令和4年新年祝賀会について
- (3)鶴岡市中心市街地交通規制解除について
鶴岡市 建設部 土木課
地域調整主幹 渡部 悟 氏

ゲストスピーチ

テーマ:「事業承継について」
講師:山形県事業承継・引継ぎ支援センター
松浦 智 氏

11月

報告事項

- (1)11月~12月各種会議報告
- (2)地域活性化委員会開催報告
- (3)青年部主催 経営強化育成事業「鶴岡元気企業育成セミナー」開催報告
- (4)鶴岡・庄内を知る講座「黒川能」開催報告
- (5)出羽三山詣で~食と銘酒で語らう旅PJ推進事業「地酒を使った熱燗勉強会」開催報告
- (6)「歴史探訪 櫛引めぐり」開催報告
- (7)「第60回 会員企業従業者表彰式並びに第18回 創業・創立記念会員事業所顕彰式」開催報告
- (8)「移動商工会議所」開催報告
- (9)鶴岡市議会議長への要望書提出報告
- (10)当所中間監査実施報告
- (11)議員の職務を行う者の変更について

協議事項

- (1)新会員の承認について
- (2)中期行動計画の推進に係る委員会の委員について

12月

新会員紹介

すなっく みゆう	黒澤 美紀	スナック 鶴岡市昭和田12-60
めん処 鶴つる	小野寺 裕貴	ラーメン店 鶴岡市桜新町11-8
(株)ViAR & E 鶴岡事務所	市浦 茂	受託開発 情報サービス運用 鶴岡市山王町7-11 1号室
Hair & Spa R.	山口 梨江	美容業 鶴岡市淀川町22-1
美容室 Heart	佐藤 ユカ	美容業 鶴岡市山王町2-22
mamakoto café kukupopo	新井 真由美	飲食業 鶴岡市山王町12-50

会員登録変更

代表者変更		
小野寺建設(株) 代表取締役 小野寺 佳克	(株)山形新聞社 鶴岡支社 支社長 古頭 哲	
(株)JVCケンウッド山形 取締役社長 佐藤 秀行	アクサ生命保険(株) 山形支社鶴岡営業所 所長 須貝 賢次	
中野鉄工(株) 代表取締役社長 板垣 昌之	(株)コマ製作所 代表取締役 森 正志	
岡山樹脂工業(株) 代表取締役 工藤 正孝	ヒサオ看板 代表 大瀧 弘桂	
事業所名・代表者変更		
佐藤宗雲司法書士事務所 → 佐藤司法書士事務所	所長 佐藤 里子	

令和3年度 所得税及び消費税 確定申告相談会のお知らせ



相談会は予約制です。
お電話にて事前予約を
お願いします!

日時	2/18(金)、2/24(木)、3/4(金)、3/10(木) 10:00~16:00
場所	鶴岡商工会議所会館 2階小会議室
相談内容	・令和3年分所得税の確定申告 ・令和3年分消費税の確定申告
相談員	東北税理士会 鶴岡支部に所属する税理士
ご予約・お問合せ	鶴岡商工会議所 経営支援課 Tel.0235-24-7711 Fax.0235-24-6171

※事前に帳簿書類・添付資料・質問事項をまとめおきましょう
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用をお願いします
※体調のすぐれない方は来所をお控え下さい ※e-Taxによる申告についての相談も承ります